“優しさ”と“思いやり”
のある運転を

教えて、守って交通事故防止

保護者の方へ

1 通学路を一緒に歩いてみる

入学前に子どもと一緒に学校までの通学路を歩き、実際に子どもの目の高さで見て、気を付ける場所を教えましょう。

2 飛び出しの危険性を教える

道路を横断するときは、必ず一度立ち止まって左右を確認することをくり返し教えましょう。

3 道路の正しい歩き方を教える

子どもは一つのことに夢中になると、周りの状況が目に入らなくなる場合があるので、道路で遊んだり、しゃがんだりしないことを教えましょう。

ドライバーの方へ

1 通学路では速度を控えめに

特に朝の通勤時間帯は登校時間と重なることから、通学路を「抜け道」にして、速度を上げて走ることはやめましょう。

2 急な横断に注意する

子どもは車が来ているのに、安全確認をしないで道路を横断するかもしれません。
子どもを見かけたときは、その動きに注意して、速度を控えましょう。

3 右左折するときは、死角に注意する

背の小さい子どもは、車の死角に入り、ドライバーから見えなくなる場合があります。
交差点を右左折するときは、目だけでなく顔も動かして側方の死角を確認し、巻き込み事故を防ぎましょう。

岩手県警察